



英国地域劇場事情～イギリスの地域劇場リポート
#5 ウェスト・ヨークシャー・プレイハウス (WYP) [3]



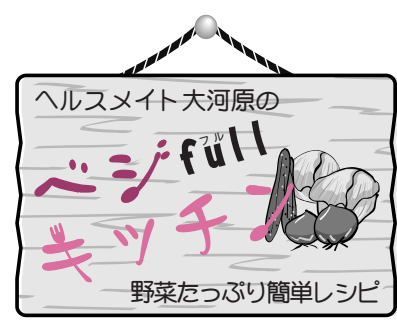
スタッフからWYPの様々な事業の説明を受ける

ユースシアター (若者向け劇団): 参加オーディションはなく、毎回社会的に問題になっているテーマを積極的に選んだ作品を制作しています。前回は「girls like that」という作品でリベンジポルノを取り上げました。新作は pronoun トランスジェンダー (性同一性障害) の話で、作品の質のみならず、テーマの掘り下げかたも素晴らしいです。リーズ市内へのアウトリーチも行っています。

Refugee boy (難民の少年): 演劇作品。14歳のアレン少年は、父親に連れられてロンドンにやって来ますが、父親は「祖国では命が危ないからお前はここで生きなさい」という書き置きを置いていなくなるというお話です。この作品上演に合わせて、難民の置かれた状況を知ってもらう活動や難民の女性の合唱プログラムを展開。難民の女性たちは、言葉もわからず、友達もない状況のなかから、同じ境遇の仲間を得、言葉も覚えながらイギリス社会に溶け込んでいけるようになり、このことによりたくさんの難民女性が救われたと話しています。

ビューティフル・オクトパス・クラブ: 成人の学習障がい者の運営するディスコ (ナイトクラブ)。若者たちはハチャメチャな衣装で参加し楽しむ事業です。

1990年のWYPオープン当時からあるミッションは、「地域とつながるということ」。そして、「全国的に評価の高い作品を制作するということ」。これらのことは連綿と引き継がれ、年々その内容は広がり深みを増しているようです。その素晴らしい事業展開に脱帽です。



青菜とエノキのおひたし



レシピ担当
高橋悦子さん
(上谷1区)
1日に食べたい野菜量は350gです。今回ご紹介の野菜は100gのお料理で100gの野菜を取ることができます。簡単に野菜を食べられる方法です。

- ◆ エネルギー/17キカロリー
- ◆ 塩分/0.4g

【材料(4人分)】(写真は1人分)
ホウレンソウ300g、エノキダケ100g
だし割りしょうゆ小さじ4
(かつおだし小さじ2、しょうゆ小さじ2)
かつおぶし5g

【作りかた】
①ホウレンソウは塩ひとつまみ加えたたっぷりの湯で色よくゆで、水にさらしてザルにあげ、水けを絞っておく。3センチに切る。
②エノキダケは根元を切り、2

等分に切ってさつとゆでこぼし、ザルにあげて水けを切っておく。
③だし割りしょうゆをつくり、①と②を和えて器にもり、かつおぶしをのせる。

わがまち文芸道場

毛氈の敷かれ茶室の淑気かな
寒夕焼川面を燃やし消えゆけり
三歳児口いっばいの恵方巻
梅東風や女子高生の輪の中に
退屈を楽しむ日なりいぬぶぐり
少女らの袂ふれあひ針供養
オリオンや熱く平和を語る女
掛け軸の夢の一字利休の忌
閉ざされしままの海女小屋春の月
風花や工事現場のミーティング
荒れ狂う吹雪吸い込み阿賀野川
足温器子の為でなくわれの為
酔ひ痴れて厨の暗し女正月
春夕焼母の匂いを曳いてくる

- 【大河原俳句会】
- 吾妻 文字
 - 石垣テル子
 - 伊澤二三子
 - 及川美沙子
 - 大久保和子
 - 日下 節子
 - 鈴木 純子
 - 中野西範子
 - 永野 シン
 - 藤原 悟子
 - 三塚 直樹
 - 山家美智子
 - 遊佐 徹
 - 佐藤さみこ

平成26年度大河原町食育スローガン「家族で野菜のおかずをひと皿増やそう」

さくら、きー♡

小春日和
おしの ともこ作



大河原町観光物産協会HP上で連載中
<http://www.oogawara.com>

身近な自然再発見

…人間と共生する昆虫たち…



▲積雪量を予知する!? カマキリ

カマキリと大雪のミステリー

「カマキリが卵を高く産んでいる年は大雪」という言い伝えがあります。もしも本当なら、カマキリのメスはその年の冬に大雪が降ることを予知できることになりそうです。これはとても興味深い話です。それを調べたある研究者が「カマキリは最高積雪量より高い所に産卵する」と発表しています。でも、まるでそれを認めない結論を出した学者

もいるのです。いったいどちらが正しいのでしょうか？ インターネットで検索すれば、両方の主張が読めます。私は昆虫の超能力を信じたい組ですが、皆さんはどちらの説に賛成でしょうか。よろしければハガキなどでお知らせください。ほかの虫に関する言い伝えや質問でもOKです。(総務課広報担当まで)
カマキリは日本に15種、東北地方には7種いますが、世界中には2千種以上だとか。もっぱら暑い地方で栄えている昆虫です。大きな鎌を振り上げて獲物を待ち構えるカマキリは堂々としてかっこ良く見えます。でも、その逆三角形の「ドヤ顔」が嫌いな人も多いのでは。もつとも、見てくれて好き嫌いが分かれるのはカマキリだけじゃないですよ。もうすぐ親そっくりのチビカマキリたちがワラワラと泡から誕生します。さて、今年の産卵位置は高・低どちらだったのでしょうか。今回は、春を待つ女神さまの話です。

元金小校長、昆虫教室(町教育委員会主催) 講師 鈴木健司さん



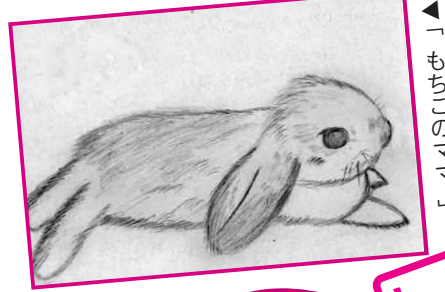
「はなつべ」



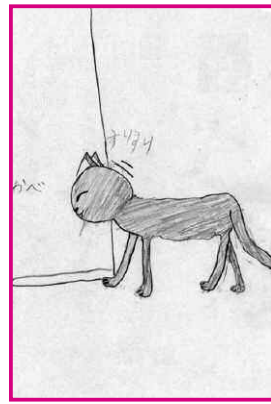
「コウちゃん」



「ちよるちよるマン」



「もちのママ」



「眠り姫」



「フランドール」

春とはいってもまだ寒い日が続きます。イラストはあったかい場所書こうね。
だれでもイラストレーター